

トラブル事例集

事例番号：J255-49-M0-2025

宛先	お客様へ		
主題	緊急遮断弁(キャパシタ搭載タイプ)の試運転時のトラブル		
製品・材質	ECB 型(全 4 型式)	現象	緊急遮断弁の開閉表示ランプが点灯しない
使用条件			

本書は、過去に弊社が経験した不具合事例をお客様に周知頂き、不具合の未然防止・対策を講貴社運転時の定期メンテナンス及び定修時において、当該事例を基に対策案として活用ください。

◆型式(キャパシタ搭載タイプ)

ECB-2C-K1、ECB-3C-K1、ECB-2C-K2、ECB-3C-K2

◆トラブル事例の内容

緊急遮断弁(電動弁)の開閉表示ランプが点灯しないためライン停止。

◆不具合事象

制御盤の遮断弁の状態表示(開・閉もしくは開閉両方)ランプが点灯していない



原因/ 対策	異常原因		【対応(確認箇所)】	
	遮断弁開閉表示ライン配線間違い		制御盤と遮断弁間の配線(図1 青部分)見直して結線間違いがないか再確認してください。 特に遮断弁側の渡り配線を忘れられる場合が多いので注意してください。	
	遮断弁調整不良もしくはリミットスイッチの不良		遮断弁の開閉出力は無電圧の a 接点です。主電源並びにキャパシタスイッチをOFFした後、バルブ端子台 8～11に入っている線を端子台から外し開閉状態でそれぞれの導通を確認してください。 全開なら 8－9 がON、全閉なら 10－11 がONになります。 それぞれの出力が無かった場合はバルブのリミット調整が必要になります。調整方法はMX (操作機型式)タイプの取説を参照。調整を行って、遮断弁操作機リミットスイッチ出力が正常になっても制御盤ランプが点灯しない場合は制御盤の不良の確認をお願いします。	
	制御盤不良		制御盤 7－8 (14—15) に渡り線を入れ開ランプが点灯するか確認、7－9 (14—16) に渡り線を入れ閉ランプが点灯するか確認点灯しない場合は制御盤内部の不良が考えられます。 遮断弁、制御盤に不具合があった場合はそれぞれの交換が必要になります。	

図1. 端子台番号表

1	U	電源
2	V	
3	①	バルブ動作
4	②	
5	⑤	No. 1バルブ
6	⑥	
7	⑧⑩	開閉表示
8	⑨	
9	⑪	
10	①	バルブ動作
11	②	
12	⑤	No. 2バルブ
13	⑥	
14	⑧⑩	開閉表示
15	⑨	
16	⑪	
17	B	警報用無電圧接点
18	A	
19	C	
20	B	給水ポンプ停止インターロック用無電圧接点
21	A	
22	C	